

高校魅力化推進事業について

1 市内高校の現状と課題（市内高校ヒアリング概要）

- 本市の人口減少が続く中、高校生も減少し、進学先として市外の高校を選択する傾向も高まっている。
- 市内高校の令和 7 年度入学者は、3 校ともに定員割れとなっている。
- 地元の生徒が市内の高校へ進学したくなるような、市外・県外の生徒にも選んでもらえるような、各高校の特色を活かした魅力化が急務である。
- 高校の魅力化を図るには、企業・団体や地域と連携した「ふるさと・キャリア教育」による特色化の推進と、中学校との連携強化が必要となる。
- 高校教員の中には、地域の産業や企業について十分な理解を持っていない者もあり、高校と中学校との連携の機会も限られている。こうした状況に対して、教育委員会による取組に加え、地元自治体からの支援は非常にありがたく、その影響力も大きい。今後は自治体との連携をさらに深めたい。

2 市の方針

- 高校の魅力化は、若者の地元定着やふるさと回帰、郷土愛・シビックプライドの醸成を図るため、総合戦略の施策に盛り込んでいる「地域に根差したふるさと・キャリア教育」として取り組む必要がある。
- 高校の存続、廃止は、市内生徒の進路選択、本市の人材育成、地域社会・地域経済に大きな影響を及ぼす重要な課題である。
- 高校再編・統廃合が単なる施設の再編に留まらず、「地域に根差した魅力ある高校教育とは何か」という本質的な議論を深め、行政、教育関係者、企業・団体、地域が共通認識を持ちながら、高校の魅力化に取り組むことが重要である。
- 高校魅力化に向けた協議の場を早期に設置し、地域の教育に対する共通認識の醸成と、実効性のある取組の検討を早期に進める必要があるため、9 月補正予算により取組を推進したい。

※教育の主体は学校・生徒であることから、市内高校や関係機関の方々のご意見を伺いながら、学校との連携と行政の支援策について検討したい。

3 市の取組(令和7年度)

(1) 【仮称】高校魅力化推進会議の設置

高校魅力化を図るため、行政、教育関係者、企業・社員、地域団体・住民、生徒等、様々な主体の参加による推進会議を設置する。

○高校魅力化に関する講演会の開催

○ワークショップ2回実施

- ・市内高校と小中学校の現状と課題の整理
- ・高校卒業時まで身に付けて欲しい力（資質・能力）
- ・学校と地域の連携のあり方について ほか

(2) 9月補正予算の概要

事業名 高校魅力化推進事業費

予算額 1,052千円

予算内訳 講演会講師、ワークショップのコーディネーターの謝礼と旅費
講演会会場使用料ほか

※令和7年度の「高校魅力化推進会議」の意見等を踏まえ、8年度に高校魅力化に資する事業、取組等について引き続き協議し、9年度から高校魅力化事業の実施を目指す